

## 1. 「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」事業の概要

### (1) 事業の目的および取組内容

国立大学お茶の水女子大学（以下、「本学」という）では、特別教育研究経費（幅広い職業人の養成や教養教育機能の充実）を受け、平成 22 年度から 25 年度の 4 年間にわたり、「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」事業を実施した。

本事業は、支援する側の視点から個別に展開されてきた、授業料減免施策、学寮施策、大学独自奨学金施策を見直し、被支援者である個々の学生ごとに、多様なニーズを把握し、きめ細やかで効果的な統合型学生支援システムを構築し、女子高等教育機会の均等化を図り、本学の教育機能の基盤を確保することを目的とするものである。

上記の目的を達成するために、学生支援室、学生支援センター（平成 25 年度より「学生・キャリア支援センター」に改名）を中心に、全学的協力体制のもとで、以下の取組みを実験的に運用しつつ、統合型学生支援制度を整備した。

### 学生支援カルテ（情報）システムの構築

学生モニターを公募し、学生の生活実態および支援へのニーズを的確に把握するための調査方法を開発し、それに基づいて、保護者を含む学生生活実態調査を実施する。学生の生活実態を踏まえ、学生支援カルテ（情報）システム（独立型サーバー上で現教務事務管理システムを拡張し、カルテを管理するソフトウェアを開発）を構築する。カルテを分析し適切な支援プランを提供するスペシャリストを雇用し、学生支援センターに配置する。プライバシーに格段の配慮をしつつ、心身の健康に関する支援と連動させる相談体制を築く。学生生活における様々なリスクの分析と支援を総合的に行うための学生支援スペシャリスト養成のためのマニュアル・テキストを作成する。留学生の生活実態については、その固有の課題を把握し対応するための方策を検討する。

### 新寮の建設と学寮機能の整理

既設の学寮の機能と対象等を再検討し、また、教育的機能を持った新寮を設計・建設（設計・建設経費は目的積立金により対応可能）して、3 タイプ程度に機能分化した学寮システムへと再編する。新寮は単なる安価なアパートではなく、プライバシーを確保しつつ他者との共生を通じて自主協同に必要な精神とコミュニケーション能力を培うことを目指す、教育的機能を持った寮とする。最終的に、共に生活し成長することを目指すキャンパス・ライフ・スタートアップ型（living-commons 型）寮（学部 1、2 年生対象の新寮）、国際交流型寮（学部 1～4 年生と留学生対象の既存寮）、キャリア発展期向け個室寮（大学院生対象の既存寮）からなる、多様なニーズに応え得る学生寮群を目指し、それらに必要な設備の改修を行う。これを、実験的に運用しながら修正を加える。

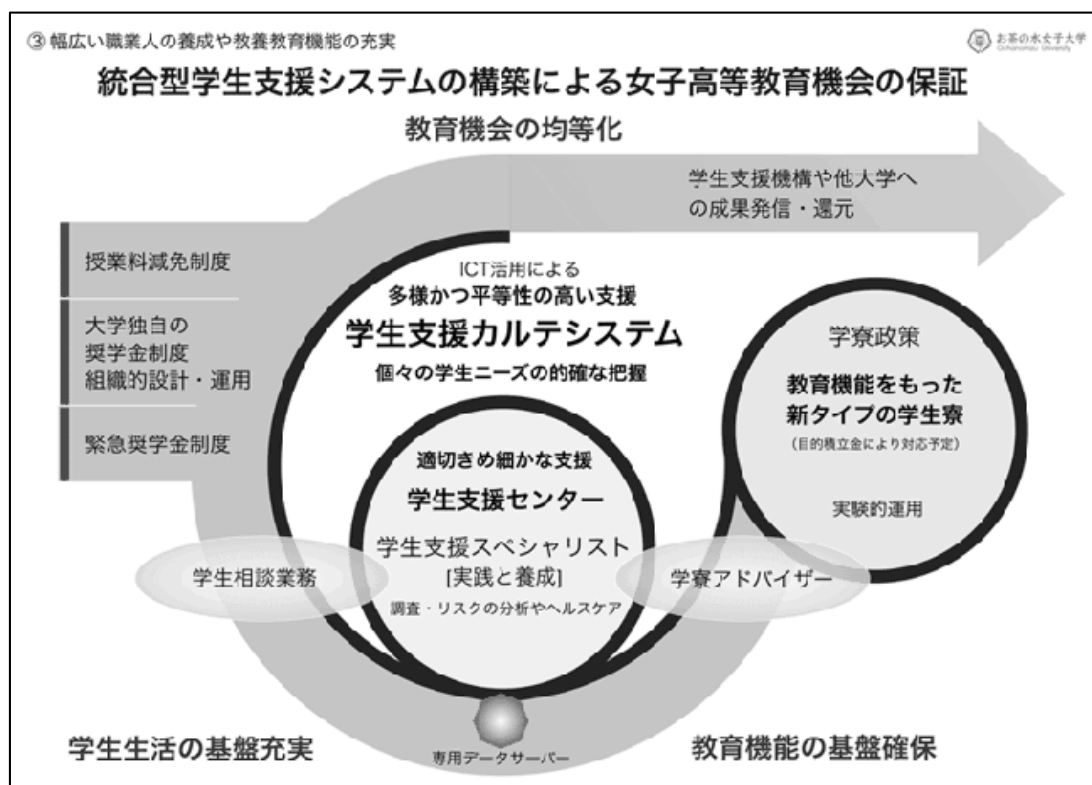
## 大学独自奨学金制度の設計

大学独自奨学金制度を、育英および奨学の双方の目的に即した形で設計する。また、留学生向けの奨学金制度の設計も行う。突然の経済的危機に対応可能な緊急奨学金制度も整備する。

## 統合型学生支援制度の構築と情報発信

以上により、(留学生を含む)個々の学生ごとに統合的にニーズが把握可能で、かつ、学寮、大学独自奨学金、授業料減免制度を統合的に運用可能な、二重の意味で統合的な学生支援システムを構築し、日本学生支援機構等に情報提供するとともに各大学へと発信する。

本事業により、学生のニーズにきめ細かに対応する諸学生支援策(学寮、授業料免除、大学独自奨学金)を統合的かつ効率的に実行できることが期待される。学寮、授業料免除、大学独自奨学金制度が、それぞればらばらに運用されていた状況と比較して、特定の学生への財源の集中が緩和され、学生の視点に立った、ニーズに適切な支援の提供が可能となる。これにより、高等教育機会の均等化を図り、本学の教育機能の基盤を確保することが期待できると共に、経済的格差が教育格差につながらないようにすることも、併せて期待できる。



「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」事業概念図

### ③ 幅広い職業人の養成や教養教育機能の充実 統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証

#### 【本事業が求められる背景①】

##### 「諸々の教育格差の拡大」

⇒高等教育機会の均等化が  
あらためて社会的課題として認識

#### 【本事業が求められる背景②】

##### 「国家政策としての留学生受け入れの増加」

⇒留学生の生活基盤を確実なものとする  
諸支援策の実行が必要

#### 【平成25年度 実施計画】

- ①学生支援カルテ(情報)システムを活用した統合型学生支援の実施
- ②学生支援スペシャリストのためのマニュアル・テキスト作成
- ③新卒での取り組みをふまえた各寮における教育的機能を高めるための方法の実施
- ④全学キャリア意識調査に対応した学生へのキャリア支援の実施



#### 【本事業の目的・ねらい】 女子高等教育機会の均等化を図り、 教育機能の基盤を確保する

- ・支援する側の視点から個別に展開されてきた、授業料減免施策、学寮施策、大学独自奨学金施策を見直す
- ・被支援者である個々の学生ごとに、多様なニーズを把握し、きめ細やかで効果的な統合型学生支援システムを構築する
- ・留学生支援を拡充する



#### 【本事業による効果】

留学生も含め、学生のニーズにきめ細かに対応する諸学生支援策を統合的、かつ効率的に実行できるようになることが期待される

「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」

事業概算要求説明資料(平成25年度の例)

## (2) 年度ごとの実施計画および実施状況

[平成 22 年度]

### 実施計画

- ①学生モニターを募集し、学生生活実態調査を設計
- ②学生支援カルテ（情報）システム構築の準備
- ③既存寮の機能と対象等の再検討
- ④各寮の機能的特徴に適した、共用・交流スペースのあり方に関する実験（寮生自主交流プログラム）の実施

### 実施状況

本事業の業務を担当する准教授、講師、アカデミック・アシスタントを採用し、学生支援室および学生支援センターを中心とする全学的な実施体制のもと、当初計画のとおり、以下のように実施した。

- ①学生モニターの募集を行い、その協力の元に学生生活実態調査を設計し、平成 23 年度新入生およびその保護者を対象に調査を実施した。学部生・大学院生を含む 35 名の学生モニターを集め、生活実態に関する情報を毎月収集し、それをもとに学生生活実態調査の設計を行った。さらには、平成 23 年度入学生およびその保護者に対しても調査を実施し、学生 396 名（入学者のうち 81.8%）、保護者 382 名（同 79.6%）から回答を得ることができた。
- ②学生支援カルテ（情報）システムの構築にあたり、もととなる学内の既存システムの確認・分析を行うとともに、既存システムの必要な改修及び更新を実施した。学生個人をベースとしたカルテシステムの画面設計を進めた。学内の既存システムの確認・分析を行うとともに、他の先進的な例を参考にして、学生個人をベースとしたカルテシステムの画面案を複数作成することができた。全学的な情報システムの統合の中で、カルテシステム実現に必要な機器の更新、設置を行った。
- ③④既存寮及び新寮について、機能の再検討を行いつつ、交流スペースを活用した学生支援プログラムの開発を行った。具体的には、機能別に寮の対象学生を定め、各寮の交流スペース備品の整備を行った。また、学生支援プログラムを開発し、新寮生を対象としてプログラムを実施した。既存寮および新寮の機能の再検討を行い、国際学生宿舎を学部 1～4 年生、小石川寮を大学院生、お茶大 SCC（新寮）を学部 1～2 年生対象として整理を行った。各寮の機能的特徴を踏まえ、新寮において学生支援プログラムを開発し、(1)寮生の交流を活性化させる交流プログラム、(2)寮生自身が主体的に交流活動を行う自主企画、(3)寮生の学修を促進させる学修プログラムを用意することができた。そして、交流プログラムの一つとして、新寮オリエンテーションを実施した。

## [平成 23 年度]

### 実施計画

- ①学生支援カルテ（情報）システム構築の為の既存システム改修とカルテ（情報）システムソフト開発を行う
- ②学生および保護者を対象とする学生生活実態調査の実施・分析・開発（第二次）
- ③新寮、既存寮に関するアンケート調査の実施・分析
- ④引き続き、各寮の機能的特徴に適した、共用・交流スペースのあり方を検討し、学生支援プログラムを実施する
- ⑤大学独自の奨学金の機能分析を目的とした調査方法の検討・調査

### 実施状況

本事業の業務を担当する准教授、講師、アカデミック・アシスタントを中心に、学生支援室および学生支援センター、学生・キャリア支援チームをはじめとした全学的な実施体制のもと、当初計画のとおり、以下のように実施した。

- ①次年度の試行にむけ、学生支援カルテ（情報）システムの設計・開発を進めるとともに、既存の学内統合データベース等より抽出する情報の収集・選定にあたった。学生支援カルテ（情報）システムの有効な活用方法を具体的に検討し、設計・開発を進めた。また、既存の学内統合データベースより抽出する情報の選定を具体的に行い、データ抽出方法の検討も行った。平成 23 年度の学部新入生に関しては、学生生活実態調査（第一次）に基づき、学生の支援に係る個人情報も新たに収集した。
- ②学生および保護者を対象とする学生生活実態調査（第一次調査）の分析、学生モニターの募集等とおして、第二次調査の開発・実施にあたった。第一次調査の分析を行い、報告書としてまとめるとともに、リサーチレポートとして電子媒体により広く学内外に公表し、学生支援における喫緊の課題も提言した。第二次調査に向けて学生モニターを募集し（前期 144 名、後期 128 名）、調査の開発・実施にあたった。その結果、二次調査では学生 407 名（回答率 84%）、保護者 403 名（同 83%）から回収を得ることができ、第一次調査より高い回収状況となった。
- ③学生寮アンケート調査の実施、分析、報告を行った。三つの学生寮の寮生を対象として学生寮アンケート調査を実施し、183 名（小石川寮 24 名、国際学生宿舎 133 名、お茶大 SCC26 名）から回答が得られた。そして調査結果に基づき、寮生のニーズを踏まえた支援を検討した。
- ④お茶大 SCC において、年間計画に基づき、学生支援プログラムを実施した。さらに、ガイドブック及びリーフレットの作成、寮ホームページの管理・更新を継続して行った。また、寮生のニーズに基づき、国際学生宿舎でもガイドブックを作成した。お茶大 SCC のコンセプト及び寮の機能、年間計画に基づき、学内外の様々な関連機関と連携をとりながら、学生支援プログラムを実施した。また、寮生の心身の問題発生の予防に務めると同時に、問題が発生した際の相談窓口となり、専門機関との連携をとって対応にあたった。さらに、ガイドブック、リーフレット、ホームページを継続して作成・更新した。

⑤既存の大学院奨学金の見直しを含めた機能分析及び制度設計に基づき、予約採用型の奨学金制度の新設・拡充を提案し、次年度より予約採用の募集の実施を決定した。博士後期課程奨学金について、25年度からの制度開始を目指し、既存の大学院奨学金の見直しを含めた機能分析及び制度設計を行った。その結果、進路決定前の学生に有効であるとの観点から、予約採用型の奨学金制度を提案した。同時に博士前期課程学生への奨学金も予約型奨学金として制度を拡充することを提案した。以上の奨学金については平成24年度に予約採用の募集を行うことが決定した。

## [平成24年度]

### 実施計画

- ①学生支援カルテ（情報）システムの構築、中間報告
- ②学生モニターを活用した、留学生等のニーズに適合した学生支援体制及び設備の整備
- ③新寮、既存寮に関するアンケート調査の分析結果に基づき、将来構想の明確化
- ④平成22年度、23年度に実施した実験結果を既存寮に取り入れる方法を検討する
- ⑤大学独自の奨学金の調査方法に基づき、奨学金の追跡調査の実施・分析

### 実施状況

本事業の業務を担当する准教授、講師、アカデミック・アシスタントを中心に、学生支援室および学生支援センター、学生・キャリア支援チームをはじめとした全学的な実施体制のもと、当初計画のとおり、以下のように実施した。

- ①学生支援カルテ（情報）システムの設計・構築を進め、全学的なデータベースから本システムに必要なデータの抽出を行うとともに、平成24年度新入生およびその保護者を対象とした調査により、別途、必要な個人情報を収集した。これにより、平成23年度及び24年度入学生に関しては、本システムに必要なすべての項目のデータを収集・蓄積することができた。
- ②平成24年度新入生およびその保護者を対象とした調査（第二次調査）の分析を行い、速報版としてまとめるとともに、学生支援における喫緊の課題を提言した。また、留学生を含めた140名をこえる学生モニターを募集し、学生の生の声を活かした学生支援体制の検討を行い、設備の整備も進めた。
- ③新寮、既存寮に関するアンケート調査の分析結果に基づき、各寮の機能分化を踏まえた整備を行い、各寮の充実を図った。
- ⑤寮での「学生支援プログラム」を基に、既存寮の機能を踏まえた取り組みを試行し、国際学生宿舎のガイドブックの作成、寮生間の交流を促すワークショップを試験的に実施した。
- ⑤既存の大学院奨学金を予約採用型として新たに設計・拡充した。ほか、平成24年度新入生およびその保護者を対象とした調査に基づき、本学の学生や保護者の奨学金に対する認知および受給希望についても分析を行った。

[平成 25 年度]

### 実施計画

- ①学生支援カルテ（情報）システムを活用した統合型学生支援の実施  
学生カルテシステムを活用した個々の学生の支援状況に関する調査を行い、統合されたシステム上でより平等な学生支援が行われる制度を検討する
- ②学生支援スペシャリストのためのマニュアル・テキスト作成
- ③新寮での取り組みを踏まえた各寮における教育的機能を高めるための方法の実施
- ④全学キャリア意識調査に対応した学生へのキャリア支援の実施

### 実施状況

本事業の業務を担当する特任准教授、特任アソシエイトフェロー、アカデミック・アシスタントを中心に、学生支援室および学生・キャリア支援センター、学生・キャリア支援チームをはじめとした全学的な実施体制のもと、当初計画のとおり、以下のように実施した。

- ①学生支援カルテ（情報）システムへのデータの蓄積をすすめ、より平等な学生支援を行うために役立つ活用方法について検討を行った。
- ②学生支援スペシャリストとして、「新寮レジデント・アシスタント（SCC-RA）」制度を設け、その研修・育成を推し進めるためのマニュアルを作成した。
- ③新寮、既存寮に関するアンケート調査の分析結果に基づき、各寮の教育的機能を高める方法の検討を行った。既存寮での実施も視野に入れ、新寮での学修支援プログラムを発展させた。
- ④キャリア支援 행사를充実させるとともに、相談体制の拡充を図った。また、その広報活動にも力をいれ、多くの学生に認知されるよう努めた。

### (3) ホームページによる情報発信

本事業に関する情報は、本学ホームページ内「教育改革の取り組みについて」および、学生・キャリア支援センター内、学生生活支援部門ホームページにおいて、随時、広く公表している。

#### 本学ホームページ内「教育改革の取り組みについて」における情報発信

お茶の水女子大学 Ochanomizu University 統合型学生支援システム構築による女子高等教育機会の保障

## 教育機会の均等化

学生支援機構や他大学への成果発信・還元

ICT活用による多様かつ平等性の高い支援

学生支援カルテシステム 個々の学生ニーズの的確な把握

学察政策 教育機能をもった新タイプの学生寮 (目的意識により対応予定)

学察アドバイザー

学生相談業務

学生支援スペシャリスト 実践と養成 課題・リスクの分析やヘルプアップ

学生生活の基盤充実

教育機能の基盤確保

平成23年度 3月完成予定

授業減免制度

大学独自の奨学金制度 組織的設計・運用

緊急奨学金制度

適切な幅やかな支援 学生支援センター

学生支援システム構築

新寮の建設と学察機能の整理

大学独自奨学金制度の設計

### 学生支援カルテシステムの構築

- 学生モニターを公募し、学生の生活実態および支援へのニーズを的確に把握するための調査方法を開発し、それに基づいて、保護者を含む学生生活実態調査を実施する。
- 学生の生活実態を踏まえ、学生支援カルテ(情報)システムを構築する。
- カルテを分析し適切な支援プランを提供する。スペシャリストを雇用し、学生支援センターに配置する。
- アドバイザーに格別の配慮をしつつ、心身の健康に関する支援と運動させる相談体制を築く。
- 学生生活における様々なリスクの分析と支援を総合的に行うための学生支援スペシャリスト要請のためのマニュアル・テキストを作成する。

▲ ページトップへ戻る

### 新寮の建設と学察機能の整理

→ 新寮「お茶大SCC」ができるまで

- 既存の学察の機能と対象等を再検討し、また、教育的機能を持った新寮を設計・建設して、◎タイプ程度の機能分化した学察システムへと再構築する。
- 新寮は単なる安価なアパートではなく、プライバシーを確保しつつ他者との共生を通じて自主協同に必要な精神とコミュニケーション能力を培うことを目指す、教育的機能を持った寮とする。
- 最終的に、共に生活し成長することを目指す「シェアハウス・スタートアップ(living-commons)型寮、国際交流型寮、キャリア発展期向け個室寮」からなる、多様なニーズに応える学生寮群を目指し、それらに必要な設備の改修を行う。
- これらを、実態的に運用しながら修正を加える。
- 留学生の生活実態については、その固有の課題を把握し、対応するための方策を検討する。

▲ ページトップへ戻る

### 大学独自奨学金制度の設計

- 大学独自奨学金制度を、育英および奨学の双方の目的に即した形で設計する。
- 留学生向けの奨学金の設計も行う。
- 突然の経済的危機に対応可能な緊急奨学金制度も整備する。

▲ ページトップへ戻る





お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター  
学生生活支援部門

[サイトマップ](#)
[お茶の水女子大学ホームページへ](#)
[在学生コンデンソールサイトへ](#)

[奨学金制度・授業料免除](#)
[各種証明書](#)
[学生相談](#)
[施設・学習環境](#)
[課外活動](#)
[くらしの支援](#)

## 女子大として万全のサポートを

本学では学生・キャリア支援センターが中心となり、多様な奨学金制度による経済面での支援、専門のカウンセラーが常駐する学生相談室を設置するなど、あらゆる点から皆さんを支援しています。

相談窓口案内はこちら

### News ニュース

- 2014年01月10日 **お知らせ** 平成26年度 4月の学生生活費主要項目公開しました
- 2013年12月25日 **イベント** 11/27学生相談室 第15回WS『コミュニケーションスキルを磨こう!!』
- 2013年12月25日 **イベント** 11/29学生相談室 第16回WS『良女の戦力なスキルを磨こう!!』
- 2013年12月11日 **お知らせ** 平成26年度 国別学生留学 新3年生及び新4年生の在留期間更新申請の受付について
- 2013年11月27日 **調査報告** 平成26年度新入生の生活に関する調査

[ニュース一覧へ](#)

### Closeup クローズアップ



### Research 調査結果のご報告



### Topics トピックス

『奨学金制度・授業料免除』に関する情報を更新しました。  
(2013年12月24日)

#### 奨学金制度・授業料免除

奨学金支援制度について

- ▶ 奨学金とは
- ▶ 申請フロー
- ▶ 奨学金制度一覧

奨学金の種類と概要

- ▶ 全学独自の奨学金
- ▶ 日大学生支援機構奨学金
- ▶ 地方公共団体及び民間奨学金団等が取り扱う奨学金
- ▶ 奨学金以外の奨学金

手続き・問い合わせ窓口

- ▶ 提出書類について
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 問い合わせ窓口・所属単位

対象者情報

- ▶ 受験生の方へ
- ▶ 学部生の方へ
- ▶ 大学院生の方へ
- ▶ 外国人留學生の方へ

▶ 入学料及び授業料免除・助成金

▶ 奨学金貸付金

#### 各種証明書

- ▶ 各種証明書と取得方法
- ▶ 証明書自動発行機について
- ▶ 窓口・郵送での申請について

#### 学生相談

- ▶ 学生相談室
- ▶ なんでも相談窓口
- ▶ センタービル4階3号小専人格権侵害相談室 色
- ▶ 障害相談窓口
- ▶ 保健管理センター 色
- ▶ 留学生相談室

#### 施設・学習環境

学習環境のための施設

- ▶ 図書館 色
- ▶ 情報楽読センター(ITCenter) 色
- ▶ グローバル教育センター
- ▶ パソコン実用室 色

課外活動施設

- ▶ 学生会館
- ▶ テニスコートの利用について

野外教育施設

- ▶ 本館高層住居有線放送
- ▶ 麓山野外教育施設
- ▶ 八王子ゼミナールハウス 色
- ▶ 草津ゼミナールハウス 色

#### 課外活動

- ▶ 学生センター
- ▶ 自治会・サークル活動
- ▶ 自治会運動
- ▶ スポーツ活動

施設・設備の利用について

- ▶ 体育施設利用について
- ▶ 貸出物品について 色

#### くらしの支援

- ▶ 入寮手続き
- ▶ お茶大S.C.C
- ▶ 国際学生宿舎(大山原)
- ▶ 小石川寮
- ▶ アルバイト情報
- ▶ 学生教育相談実習室貸付
- ▶ キャンパス周辺マップ



スタッフをご紹介します！

About us 学生支援部門について

- ▶ 相談窓口案内
- ▶ スタッフ紹介 色

Related contents 関連コンテンツ

- ▶ 学生・キャリア支援センター キャンパス支援部 色
- ▶ 学生・キャリア支援センター キャンパス教育部 色
- ▶ グローバル教育センター
- ▶ リーダーシップ養成教育研究センター 色

Site information サイトインフォメーション

- ▶ プライバシーポリシー
- ▶ 個人情報について
- ▶ セキュリティポリシー 色

お茶の水女子大学学生・キャリア支援センター 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1  
☎ 03-5978-5147 ✉ qakusi@cc.ocha.ac.jp

このサイトはお茶の水女子大学 総合型学生支援システムホームページ運営委員会が管理しています。詳しくは「このサイト」について 色 をお読み下さい。  
Copyright © 2014 Choshu University All Rights Reserved.